K.Miura

THE KYOTO JUMP STAKES　第26回 京都ジャンプステークス（J・GⅢ）

	1着	2着	3着	4着	5着
本賞	29,000,000円	12,000,000円	7,300,000円	4,400,000円	2,900,000円
付加賞	252,000円	72,000円	36,000円		

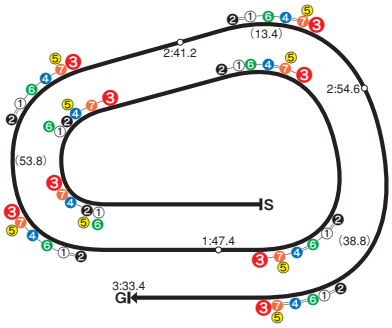
レース映像はコチラでご覧いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量　3歳58*ﾛ4歳以上60*ﾛ、牝馬2*ﾛ減、J・GⅠ競走1着馬2*ﾛ増、J・GⅡ競走1着馬1*ﾛ増

2024.11.9　京都　晴・良　芝3170ﾒｰﾄﾙ　(混合)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム(着差)	コーナー通過順位	平均1ハロン	馬体重(増減)	単勝オッズ	調教師
1	③	スマイルスルー	牡4	60	高田　潤	3:33.4	1-1-1-1	13.5	518(－2)	1.4①	斉藤崇史(栗東)
2	⑦	アサクサゲンキ	騸9	60	小牧加矢太	8	2-2-2-2	13.5	470(±0)	5.0②	音無秀孝(栗東)
3	⑤	オオキニ	牡5	60	森　一馬	1	2-2-2-2	13.6	452(±0)	5.7③	鈴木孝志(栗東)
4	①	レッドバロッサ	騸5	60	小坂忠士	8	6-6-6-6	13.6	516(＋12)	12.5④	音無秀孝(栗東)
5	⑥	ダイシンクローバー	騸8	61	上野　翔	クビ	5-5-5-5	13.6	480(－12)	31.0⑥	戸田博文(美浦)
6	④	ザメイダン	牡8	60	石神深一	4	4-4-4-4	13.7	484(＋2)	21.1⑤	新開幸一(美浦)
7	②	メイショウアツイタ	牡6	60	難波剛健	大差	7-7-7-7	13.9	504(－8)	66.0⑦	高橋義忠(栗東)

単勝③140円(1ﾍﾝ)　複勝③110円(1ﾍﾝ)　⑦160円(3ﾍﾝ)　枠連：発売なし
馬連③-⑦360円(2ﾍﾝ)　ワイド③-⑦150円(2ﾍﾝ)　③-⑤140円(1ﾍﾝ)　⑤-⑦220円(3ﾍﾝ)
馬単③-⑦440円(2ﾍﾝ)　3連複③-⑤-⑦300円(1ﾍﾝ)　3連単③-⑦-⑤860円(2ﾍﾝ)



上り1マイル：1:46.0　　上り：800ﾒｰﾄﾙ 52.2 - 600ﾒｰﾄﾙ 38.8

アラカルト

- 高田潤騎手は京都ジャンプS初勝利。ＪＲＡ重賞は24年3勝目、通算23勝目
- 斉藤崇史調教師は京都ジャンプS初勝利。ＪＲＡ重賞は24年2勝目、通算20勝目
- ルーラーシップ産駒はＪＲＡ重賞通算34勝目
- 4歳馬の勝利は23年エコロデュエルに続く通算3回目
- 馬単440円、3連複300円、3連単860円は各式別における本競走の最低払戻金額

スマイルスルー *Smile Through*

牡　鹿毛　2020.4.15生
北海道安平町　ノーザンファーム生産
馬主・吉田勝己氏　栗東・斉藤崇史厩舎
馬名意味・笑顔を絶やさない

サンデースマイルⅡGB系　F1-s

ルーラーシップ 鹿毛　2007	キングカメハメハ 鹿毛　2001	Kingmambo
		マンファスIRE
	エアグルーヴ 鹿毛　1993	トニービンIRE
		ダイナカール
スマイルシャワー 鹿毛　2011	シンボリクリスエスUSA 黒鹿毛　1999	Kris S.
		Tee Kay
	サンデースマイルⅡGB 鹿毛　2003	Sunday Silence
		Sensation

5代までのインブリード：Nureyev S5×M5　Hail to Reason M5×M5

父ルーラーシップ

北海道安平町　ノーザンファーム生産　中央、香、首20戦8勝(クイーンエリザベスⅡ世C・香^{G1}、アメリカジョッキークラブC^{GⅡ}、日経新春杯^{GⅡ}、金鯱賞^{GⅡ}、鳴尾記念^{GⅢ}、宝塚記念^{G1}2着、ジャパンC^{G1}3着)、13年から供用
〔代表産駒〕**キセキ**(菊花賞^{G1})、**メールドグラース**(コーフィールドC・豪^{G1})、**ソウルラッシュ**(マイルチャンピオンシップ^{G1}、マイラーズC^{GⅡ}2回)、**ドルチェモア**(朝日杯フューチュリティS^{G1})、**マスクトディーヴァ**(阪神牝馬S^{GⅡ})、**ダンビュライト**(京都記念^{GⅡ})、**リオンリオン**(青葉賞^{GⅡ})、**ワンダフルタウン**(青葉賞^{GⅡ})、**ムイトオブリガード**(アルゼンチン共和国杯^{GⅡ})、**エヒト**(小倉記念^{GⅢ})、**グロンディオーズ**(ダイヤモンドS^{GⅢ})、他に重賞勝ち馬多数

母スマイルシャワー

北海道安平町　ノーザンファーム生産　中央22戦3勝
スマイルライン(18 牡父ルーラーシップ)中央8戦1勝
アエリーゾ(19 牝父ドレフォンUSA)中央24戦1勝 ㊎
スマイルスルー 本馬(20 牡父ルーラーシップ)中央9戦1勝、障害6戦3勝
　(京都ジャンプS**J・**^{GⅢ}、清秋ジャンプS^{OP}) 獲得総賞金74,104,000円
(23 牝父ナダルUSA)
(24 牡父ビッグアーサー)
※21、22(流産)

祖母サンデースマイルⅡGB

英1勝。09年輸入、23年死亡
フルーキー(10 牡父Redoute's Choice)持込 中央7勝(チャレンジC^{GⅢ}、ポートアイランドS^{OP}、清水S、甲東特別、野分特別、タイランドC、エプソムC^{GⅢ}2着、新潟大賞典^{GⅢ}2着、チャレンジC^{GⅢ}2着)
スマイルシャワー(11 前出)
スマイルミーティア(12 牝父チチカステナンゴFR)中央2勝
シーブリーズラブ(13 牝父カジノドライヴUSA)中央1勝、地方0勝、トーセンジェイク(黒潮菊花賞)の母
ハッシュタグ(14 牡父クロフネUSA)中央1勝、地方5勝
ルガールカルム(16 牝父ロードカナロア)中央2勝(アネモネS・L、クロッカスS・L2着)
マンオブスピリット(17 騸父ルーラーシップ)中央2勝(つばき賞、京都新聞杯^{GⅡ}2着)、地方0勝
ホウオウサンデー(18 牡父キングカメハメハ)中央2勝 ㊎
ブリスキー(20 騸父ハービンジャーGB)中央1勝 ㊎

INTERVIEW

伊藤隆行厩舎長(ノーザンファーム早来)

綿密なスクーリングが勝利に繋がりました

育成時から前進気勢が強くレースで集中力を欠く面がみられましたので、それが障害でポジティブにはたらいてくれたらと思っていました。前走は強いレースを見せてくれました。今回は高田潤騎手がバンケットのスクーリングを綿密におこなってくれたことが勝利に繋がったと思います。育成を手掛けたルーラーシップ産駒での重賞制覇も嬉しかったです。

H.Yamanaka

重賞初挑戦の舞台で演じた圧勝劇

春の中山グランドジャンプで王座に返り咲いたイロゴトシが脚部不安による離脱を余儀なくされた一方、前年の最優秀障害馬マイネルグロンが暮れの大一番を目指して平地戦で戦列に復帰。賑やかになってきた秋の障害界に強力な新星が現れた。7頭立てで争われた京都ジャンプSは、単勝1・4倍と圧倒的な支持を集めた4歳馬スマイルスルーがレースの脚光も独占。初めて挑んだ重賞の舞台でワンサイドの圧勝劇を演じ、障害界の王位を窺う存在に躍り出た。

少し頭を上げるような格好のスタートからすぐにスピードに乗り、スタンド前の連続障害で先頭に立ったのがスマイルスルーと高田潤騎手のコンビだった。自然体で単騎の逃げに持ち込み、向正面の大障害コースを迎えた人馬は大いけ垣障害を綺麗な飛越でクリア。続く最大の難関、三段跳びは着地でやや躓いたものの大きな影響はなく、悠々と風を切っていく。

2周目のスタンド前に差し掛かると、2、3番人気に支持された2頭、障害重賞2勝の古豪アサクサゲンキと清秋ジャンプSの2着馬オオキニが、離れた好位から前に接近。しかしプレッシャーをかけられてもリズムを乱さず、軽快に飛ばしたスマイルスルーは余力を十分に残して4コーナーを回る。直線の最終障害を飛越後、高田騎手が軽く仕掛けて加速を促すとたちまちリードが広がり、2着のアサクサゲンキに8馬身差をつけてゴールに飛び込んだ。

ルーラーシップ産駒の本馬は平地時代、未勝利戦を勝ち上がった後、1勝クラスでは4戦して5着1回と苦戦が続き、新天地に活路を求めて1月に障害へ転向した。初戦は2着、その後も3、2着と足踏みを重ねたものの、高田騎手と初コンビを組んだ4戦目に初勝利を挙げると未知の素質が大きく開花。続く清秋ジャンプSでは従来のレコードを一挙に3秒0も塗り替えて6馬身差の圧勝を飾った。初めて重賞に挑んだこの日も危なげのない走りで完勝。このまま頂点へ駆け上がるか、今後の動向が注目される。